

景観形成基準チェックリスト（建築物）

田園景観ゾーン

記入者	
行為の場所	さくら市

(市記入欄)

項目	景観形成基準	チェック欄	具体的な取組み又は工夫の内容	適否
配置	●地域の優れた眺望景観を損なわないよう配置に留意する。	<input type="checkbox"/>		
	●田園集落景観の連続性に配慮し、周辺建築物と調和するよう配慮する。	<input type="checkbox"/>		
	●敷地内に大木やまとまった屋敷林がある場合や良好な眺望が得られる場合には、これらに配慮した配置とする。	<input type="checkbox"/>		
規模	●個々の建築物の高さは極力おさえ、良好な眺望景観を妨げないよう配慮する。	<input type="checkbox"/>		
	●周辺の田園集落景観と調和するよう、建築物と敷地のバランスに配慮する。	<input type="checkbox"/>		
形態意匠	●屋根の形状や外壁は、周辺の建築物等との連続性に配慮するとともに、周辺の田園集落景観と調和した形態意匠となるよう工夫する。	<input type="checkbox"/>		
	●社寺、史跡等の歴史・文化資源や良好な景観資源に近接する場合は、これらの景観を損ねないよう形態意匠に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
建築設備	●屋外設備、屋上設備等の建築設備は、建築物と一体的なデザインとする等見え方に配慮する。	<input type="checkbox"/>		
色彩	●遠望する山並み景観や周辺の田園景観を損ねるような色の使用は避け、田園や集落景観と調和するよう、低彩度で落ち着いた色彩を基調とする。ただし、石材、木材等の自然素材、漆喰、金属、ガラス等の表面に着色していない素材は除く。	<input type="checkbox"/>		
	●使用する色数をできるだけ抑える。			
	●アクセントとなる色彩を使う場合は使用面積を抑える。	<input type="checkbox"/>		
素材	●周辺の自然景観や田園集落景観と違和感のあるような素材は極力避け、地域特有の素材や天然素材を用いるよう努める。	<input type="checkbox"/>		
	●光沢のある素材や反射の生じる素材を多用しないよう努める。	<input type="checkbox"/>		
緑化	●集落地は敷地内の緑化に努める。特に、道路前面部の生垣による緑化に努める。	<input type="checkbox"/>		
	●使用する樹種については、周辺の田園や樹林等と調和するよう、地域の風土にあったものとするよう努める。	<input type="checkbox"/>		
	●規模の大きい店舗や工場等の建築物は、周辺の景観に与える影響が大きいことから、樹木の高さや配置等に配慮し、緑化に努める。	<input type="checkbox"/>		
	●敷地内の既存樹木は、保存・活用し、修景に活かす。	<input type="checkbox"/>		
その他	●屋外広告物を設置する場合は、大きさ、色彩、形状に配慮し、建築物と一体的なデザインとなるよう配慮する。	<input type="checkbox"/>		
	●大規模な駐車場は周囲を生垣で囲む等景観的な配慮に努める。	<input type="checkbox"/>		
	●集落地において夜間照明を行う場合は、過度な光量・電飾を控える。	<input type="checkbox"/>		

※適否欄は記入不要です。